

奄美群島で採集されたカワハギ科魚類
アザミカワハギ (新称)

高 田 渡・上野 輝弥

A Record of the Filefish, *Amanes scopas*, Collected from
the Amami Islands, Japan

Wataru Takada and Teruya Uyeno

(Received February 9, 1978)

Ten specimens of the filefish, *Amanes scopas* (Cuvier, 1829) which has not been previously recorded from Japan, were collected from Saneku, Kakeromajima, Amami Islands (28°11'~12'E, 129°9'~13'N) in 1976. Morphological characters of the specimens are generally within the ranges reported by Randall (1964). The largest male was 161 mm and the largest female was 145 mm in standard length. When they were observed underwater during the months of July~September, most of them were swimming around coral reefs in pairs. They tended to stay within a few meters of a certain coral reef. Some solitary individuals which swam around freely and did not stay in one place, were seen in June and July. Recently, we received information on the presence of this species at Iriomotejima, Ishigakijima, Okinawajima, and the Gotô Islands. The last locality represents the northernmost locality for the species so far known. The nearest locality known for the species outside of Japan is Formosa.

(Nippon Luther Shingaku Daigaku, Mitaka, Tokyo 181, Japan)

奄美群島加計呂麻島実久(さねく)において、1976 年に魚類相調査を行った際、カワハギ科の *Amanes scopas* (Cuvier, 1829) アザミカワハギ (新称) を 10 個体採集した。標本は駿河湾海洋生物研究会 (SKSK) と東京大学総合研究資料館 (ZUMT) に保管されている。() の中は性別、標準体長、採集日である。SKSK 4238 (♂, 120 mm, 8 月 16 日), 4351 (♂, 190 mm, 9 月 2 日), 4094 (♀, 131 mm, 7 月 11 日), 4166 (♀, 174 mm, 8 月 1 日), 4234 (♀, 132 mm, 8 月 14 日), 4330 (♀, 119 mm, 9 月 1 日); ZUMT 54061 (♂, 147 mm, 9 月 1 日), 54062 (♂, 130 mm, 9 月 1 日), 54063 (♀, 138 mm, 8 月 31 日), 54064 (♀, 136 mm, 3 月 13 日)。

Randall (1964) によれば本種はインド洋~太平洋西部の熱帯域に広く分布しており、日本の近くでは台湾か

らの報告がある。

本種の特徴は第 2 背鰭と臀鰭にはさまれた体側の中央に数本ないし多数の後方に向かう棘を有することである。この棘の形態は雌雄において差があり、雄では 5~8 本の長く強大な棘が束をなしており (Fig. 1, above), 雌では棘は多数で短かく一塊をなしている (Fig. 1, below)。

今回採集された標本の諸形質はおおむね Randall (1964) の記載値の変異幅の中に含まれる。雄は 4 個体で標準体長は 120~160 mm, 雌は 6 個体で 118~145 mm であった。背鰭鰭条数は 2 棘 26~27 軟条, 臀鰭鰭条数は 22~24 軟条, 尾鰭の主鰭条数は 12 本, 胸鰭鰭条数は 13~14 軟条であった。

ホルマリンに固定された個体の体色は体の前半は茶褐色で、肛門より後方は次第に黒味を増し、尾柄は黒色である。体側中央に 10~12 本の濃褐色の横縞がある。海中で生体を観察した際には体側中央部が白く、横縞は大変はっきりと認められた。

加計呂麻島実久では 7~9 月頃、水深 1~3 m のサンゴ礁の縁辺付近において、警戒心が強い。雌雄一対でみられることが多かったが、定着性が強く、一定のサンゴ株を中心にその周囲数メートルの範囲からほとんど移動しない。しかし 6~7 月に観察された単独の個体には定着性はみられなかった。

アザミカワハギという和名は体側にある一群の棘が植物のアザミの棘を連想させる所からきている。

なお東海大学海洋研究所西表分室の岸本浩和氏より本種を西表にて採集したという情報と、沖縄県国頭郡本部(もとぶ)の沖縄水族館の戸田実氏から本部付近にて本種を採集したとおしらせを頂いた。北海道大学水産学部の松浦啓一氏は北海道大学の標本庫 (HUMZ) 整理中に長崎県五島列島(採集日不明)で採集された標準体長 149.3 mm の雄の個体 (HUMZ 40792) を発見した旨、また 1974 年 4 月に沖縄県石垣島で標準体長 173 mm の雄の個体 (HUMZ 45219) を採集した旨おしらせ頂いた。

このことはアザミカワハギが五島列島、奄美諸島から台湾へかけても広く分布していることを示している。

共同で標本採集を行った同学の友、水野正一氏、本種に関する情報を提供された岸本、戸田、松浦の諸氏に心から感謝の意を表する。

引 用 文 献

- Randall, J.E. 1964. A revision of the filefish genera *Amanes* and *Cantherhines*. Copeia, 1964 (2): 331~361, figs. 1~18.

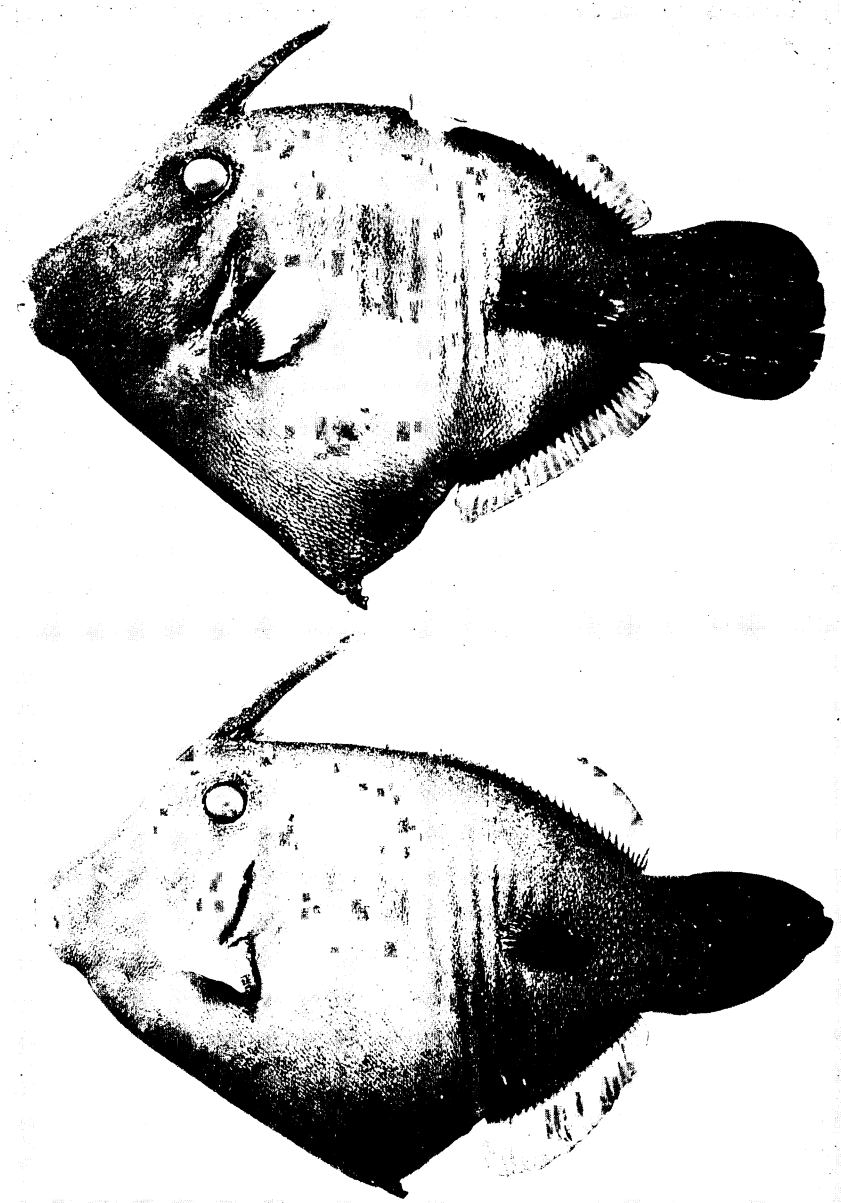


Fig. 1. Photographs of a male (above, ZUMT 54061, 147 mm SL) and a female (below, ZUMT 54063, 138 mm SL) of *Amanses scopas*, collected from the Amami Islands.

(181 東京都三鷹市大沢 3-10-20 日本ルーテル神学
大学)